

酒田市は「日本一女性が働きやすいまち」を目指します



- ★酒田市が考える「日本一女性が働きやすいまち」とは
 - ☆職域において男女が均等な機会と待遇が確保されているまち
 - ☆ワーク・ライフ・バランスが推進されているまち
 - ☆多様な分野で女性の活躍が推進されているまち

どうして日本一女性が働きやすいまちを目指すの？

【女性の現状】

- 20-59歳女性就業率7割以上と高く、女性が働くことに抵抗感がない。
- 家庭との両立などの理由から非正規雇用の割合が高く、男性に比べて平均賃金が低い。
- 20-39歳女性が職場で男女が平等あると感じる割合は約3割、女性が優遇されていると感じる割合が約1割と少なく、もっと職場で自らの力を発揮したいと思う女性が多い。

働く場面で女性の力が十分発揮できているとは言えないが、その土壌は備わっている。

【企業の現状】

- 少子高齢化が進み、労働力人口が減少する中、人手不足が顕著になっている。
- 女性があらゆる分野に進出しており、女性登用も進んでいる。
- 女性管理職の割合が全国（R1 11.9%）より山形県は高い（R2 15.0%）。

性別にとらわれない新たな価値の創造が求められている

働く、働こうとする女性がその個性と能力を十分に発揮することは、持続的な成長、社会の活力維持につながるのん！



平成29年度酒田市民フォーラムで 「日本一女性が働きやすいまち」を目指す宣言を行いました



市民フォーラムでは、行政、経済団体、経営者、働く人が連携して取り組んで行くことを宣言しました。

日本一女性が働きやすいまちへ

少子高齢化が進み、生産年齢人口が減少する中、誰もが生き生きと働き続けることのできる環境を整えることが、地方創生の根幹となります。

酒田市は、自らの意思によって働くまたは働こうとする女性が、その個性と能力を十分に発揮し、その思いを叶えられるまちを目指し、「日本一女性が働きやすいまち」となるよう、行政、経済団体、経営者、働く人が連携して取り組みを進めていくことをここに宣言します。

平成29年10月1日